令和４年度　意見書

令和4年10月6日

事業	担当課	評　価		意　見
1．宝の土地活用推進事業	企画情報課	◎	1	現状では目標達成が厳しい。 企業誘致が進む取り組みを考えてほしい。 企業誘致のチャンスはいくらでもあります。努力は続けましょう。PRは、工夫しましょう。 工場誘致するには、本町は、それほど企業にとってメリットがあると見られない。まして工場誘致は時代に合わない。志雄中跡地の隣が病院であり、環境的にも難しいのではないか。 町独自のPRが必要。 とにかく企業有地か、起業家を応援する。 コロナ禍では企業の新たな工場への投資は難しくなっています。現状では工業団地を持ち外国人サポートが充実した他自治体との競争に勝てないと思います。アステラス跡地と志雄後中学の跡地は企業のニーズに合わないから打診がなかったと考えられます。工場は人件費削減のためオートメーション化と外国人労働者（日本人は工場勤務を敬遠するため）を雇うようになってきてるので工場誘致＝多くの雇用につながるかはわかりません（宝達志水町では111人の外国人技能実習生が製造業を支えています）もし工場誘致を本気で取り組むのであれば外国人労働者の受け入れや生活のサポートをできる体制を企業に示さないとアピールできないと思います。 アステラス跡地と志雄中学跡地は結果が出ていないので誘致目的ではなく他の転用を考えてもいいのではと思います。 対象業種の絞り込みは賛成です。規模ではなく、町にマッチした（イメージアップ）企業、会社、店に来てもらえると良いです。例えば、キャンプ運営会社（自然のイメージ）やスターバックス（若者のイメージアップ） 人が集まる場所には必然的に企業はやってくるのではないでしょうか？住宅地整備の優先度高め、次の段階で企業誘致に力を入れてみてはいかがでしょうか？ 担当課が別々だが、連携は？１～3ともに雇用創出が目標だと思われますが？
		○	8	
		△	8	
		×	2	
2．サテライトオフィス推進事業	商工観光課	◎	1	企業からの反響に対応できていない実態が伺える。事業を手掛けるのであれば、空き家や空き店舗のリストをしっかり整備したうえで対応することが大切。 現状では目標達成が厳しい。 通信環境や眺望、自然などもっとアピールする必要があり。「お試し」オフィスの開設をぜひ。町内の企業にもPRしてはどうか。 サテライトオフィスを推進するには、通信環境が他地域よりもいいという状況を作るべき。例えば、5G、あるいは将来的に6Gが使えるとか。 （例）今浜通り（旧宿場町あと）を中心とした宝達街道を作ってみては。にぎわいを集め、そこから面を広げる。 事務系を雇用するサテライトオフィスには力を入れるべきだと考えます。アステラス跡地はサテライトオフィス、起業家のシェアオフィスなど移住者や町内の起業家たちのコミュニティ＋DMO拠点とした観光案内所などの複合地区にすれば企業や移住者（外国人を含む）へのアピールポイントになるかもしれません。コンセプトはワークライフバランスを自然の中で叶えられる町など。サテライトオフィスはこういったライフスタイルが叶うので参入するのだと思います。 オフィスも含めて、対象企業に具体的、個別の提案をして、興味をもってもらう。 課題に「サテライトオフィス誘致の前に、今後のまちづくりをどのように進めるのかを固める」とあるが、そもそも必要だと判断して行って来たのでは？実施内容にも中途半端さを感じます。 担当課が別々だが、連携は？１～3ともに雇用創出が目標だと思われますが？
		○	11	
		△	5	
		×	2	

令和４年度　意見書

令和4年10月6日

事業	担当課	評価		意見
3．起業・創業バックアップ事業	商工観光課	◎	9	地域の賑わいとは、何を指している？起業・創業する活力のある町で良いと思う。 ISICO出身起業者とのかかわりを取り持つ内容が必要ではないか。 起業後のフォローアップについても考えてほしい。 農林水産課とタッグを強め、１～3次産業の起業ニーズも取り込んではどうだろうか。 今後、さらに一段と起業・創業をバックアップするには、事業を推進していくためのアドバイザーを常駐するとか。常に気にかけるように声をかけて状況を把握するなどの体制をつくるべきではないのか。もちろん、アドバイザーは専門家であるべき。 すぐ結果を求めず様々な職種の企業や個人経営をサポートしてみる。例えばオンラインショップで町内の起業家が物を販売すれば目に見える賑わいでなくても町をPRする別のメリットもあります。何が町にとってプラスと転じるかわかりません。 起業・創業における一歩踏み出しやすい環境づくりは有益なものと考えます。ただし、ＫＰＩ設定は例年一定数であり、内容のより効果的な見直しにつながるものではないと考えます。 担当課が別々だが、連携は？１～3ともに雇用創出が目標だと思われますが？
		○	8	
		△	2	
		×	0	
４．DMOによる戦略的な観光振興事業	商工観光課	◎	6	統計による日帰り見込数増となった観光資源は何ですか。 今後の継続については、デジタルマーケティングを含めて、本件で取得したデータの活用方法について具体的な取組みを提示して欲しい。事業費が効果につながっているか検証は？ 千里浜、宝達山、アサギマダラ、オムライス、宝達くずなど観光リソースがふんだんにある。DMO設立でもっと有機的に資源をいかずべき。 そのままでいいのではないか。 コロナ禍をいかに安全性と経済性をアピールするか？ 観光事業は、今それほど力を出さなくても10年先を見据えて行っては。 DMO事業を進めるのであれば拠点が必要だと思います。2．サテライトオフィス推進事業で提案したアステラス跡地のコミュニティで起業家、企業のサテライトオフィス、移住者のコミュニティ、農家、その他スポーツイベント振興事業、観光案内所など町の宝を結集させる事で町のイメージを上げ、町民のシビックプライドを醸成する。DMOにはCRMなどのデータ分析や官民の連携が必要ですが実際に町を歩いて新しい事を発見する目が必要で、町外の方の意見が必須だと思います。観光者のアンケートは大切だと思います。 詳しくはわかりませんが、データ収集は大切です。 ポイントカード会員数の増加は喜ばしいことであるが、実際の有効人数を把握していただきたい。また、新規把握及び有効人数における利用金額の増減も追跡していただかないと、効果は見えにくい。 DMO?日本語では？DMOなるものの設立意義がよく理解できない。
		○	8	
		△	4	
		×	1	

令和４年度　意見書

令和4年10月6日

事業	担当課	評価	意見
5. スポーツイベント振興事業	生涯学習課	◎ 6 ○ 13 △ 0 × 0	合宿、休憩所の施設が必要。 観光資源を生かした、スポーツ、イベント(マイナースポーツ)、サイクリングの開催。 イベント内容の工夫、施設の整備など事業を進めてほしい。 シニア世代ではゲートボールよりグラウンドゴルフが盛んになっています。このニーズを取り込んではいかがでしょうか。 スポーツ施設のさらに充実と利用の深化、そのための広告も必要ではないか。町内にゴルフ場があるので、町内で利用を促進するイベントをしてみてはいいのではないか。 山と海、ゴルフ場等自然はたくさんあるが、もっとアピールとユニークな企画が必要。 合宿の誘致に宿泊施設として、廃校の有効利用は良いと思う。低料金で他に差をつけ、町の商工会と連携し、料理や弁当等の提供も良いと考える。 いろいろ活動をしているので、今後も楽しみ。ただし、PRは弱い。 宝浪漫マラソンは看板も手作りでほのぼのとした町の雰囲気が伝わり良かったです。多くの媒体に取り上げられるPR努力が必要です。宝達山ヒルクライムは町の良さをアピールするイベントなので来年の開催を期待します。ゴルフイベントは運営面で他のイベントよりも負担が少ないと考えられるので宝浪漫杯としてゴルフ場と連携していくとリゾート地宝達志水のアピールになると思います。宿泊施設がないため合宿誘致は現状では期待できないと思います。 宝浪漫マラソン時に小学生対象の宝探し等、宝にちなんだイベント企画をより充実させていく。 ポイントカードで、町外会員がどれほど宝達志水町で経済に影響を与えているかは、カード利用における使用金額の把握も必要なのではないでしょうか？町外会員のカード使用実績を注視したい。
6. ふるさと会交流促進事業	商工観光課	◎ 6 ○ 13 △ 0 × 0	SSTRは盛況でした。さらに定着、交流人口の拡大のチャンス。 東京や名古屋、大阪などのふるさと会が一同に集まれる大会を開いて、地元との交流を深めると共に、出身者がふるさとを理解するイベントを行うのはどうか。 羽咋高校、宝達高校の同窓会とも連携して組織を拡大することも必要。 イベントを実施して、町のアピールとともにふるさと納税がしなくなる工夫につなげてはいかがか? ふるさと会のがどのように関わっているのか具体的に実施内容から読み取れなかったので意見できませんでした。 SSTR、すごく良いです。ふるさと会も知りませんでしたが、good！ ポイントカード県外会員が継続して本町を訪れてくれることが望ましいが、県外に住んでいてもポイントカードを活用し、本町においても利益がある仕組みの構築が必要なのではないでしょうか？ SSTR関連の催しのさらなる発展・充実。

事業	担当課	評価		意見
7．宝のなぎさ交流促進事業	商工観光課	◎	4	コロナ後の誘客促進について計画を立て、積極的に取り組んでほしい。 宿泊所の開発に期待します。 千里浜景観地でのイベント（花火）を企画して、観光客を含め宿泊者を増やすことを検討してはいかがか。 町内宿泊をどうするのか。絶対数不足か。 千里浜の養浜の取り組みを早急に行うべき。 千里浜なぎさドライブウェイは今年になって頻繁に通行止めもあり冬季も通行が厳しい状況です。千里浜なぎさドライブウェイ通行に頼らないレストランや宝達志水でしかないオシャレな限定品の販売で仮に通行止めになったとしてもこの景観地に誘客してもらい、そこから他の宝達志水観光地に人を誘客するといった戦略も必要かもしれません。 観光の最大の魅力とも言える場所でありながら、お金を使う場所が無いのが現状かと思います。更なる受け皿として今後に期待しています。 養浜の状況は？
		○	9	
		△	5	
		×	1	
8．農産物等ブランド化推進事業	農林水産課	◎	9	生産拡大の様子（現状）をアピールすることで後継者の募集につなげられないか。 未だブランド農産物の知名度が低いと感じる。事項と合わせ、新規就農者の収入を増加させ、農業に関する事業の更なる支援が必要。 テレ朝「旅サラダ」で黒蜜姫を視聴しました。絶品です。栽培を希望する移住者を募ってはどうでしょうか。 ブランド農産物を生産する農業従事者を個人で行うのが限界であるがゆえに後継者が不足するので、会社などを設立して事業化して方がいいのではないか。 SNS等の活用で日本、世界へ町のブランドをアピールして、後継者の確保ができないか？ ふるさと納税向け品や個人からの注文用の直接向けPRに力を。 ブランド化を進めるにはマンパワーとPR戦略も必要なのですでにブランド化された商品などに絞る方が効果的だと思います。無印食品が参入してきたのでいちじくや宝達くずを使った製品開発なども無印のブランド力でPRできるかもしれません。 黒蜜姫はメディアでも取り上げられ、マラソンのSNS口コミでもエイドで提供され大変好評のようでした。引き続き更なる付加価値向上及び新規ブランド化に向けて頑張っていただきたい。
		○	9	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
９．新規就農者支援事業	農林水産課	◎	4	同上。ブランドの果実（野菜も）があれば、全国から就農希望者を募ることができるのではないでしょうか。 新規に就農するのは、今後期待できない。農産物のブランド化事業を会社で行うなかでそこに就業する方がやりやすいのではないか。 PRと掘り起こしは必要。 稲作新規就農者の掘り起こしは？ 実際に宝達志水町のいちじくが金沢のスーパーに売られているなど販路が拡大されているので後継者の育成のためにもこの事業は継続した方がいいと思います。永住権を持った外国人も増えているのでこの方たちにもアピールしていくのもいいと思います。農家が安心して経営できるよう規格外や少し傷のある生産物を給食で使ってあげたり他の製品のために買い取ってあげるような食品ロスを避ける仕組みが必要だと思います。 農作物等ブランド化推進事業が効果を生み出せれば、収益性の観点から新規就農者をオファーできるものと考えます。利益・やりがいを提供できるように二本柱で効果を上げていただきたい。
		○	10	
		△	4	
		×	1	
１０．民間賃貸住宅建設補助事業	地域整備課	◎	5	資材の高騰や金利の動向が見通せず、新たな賃貸物件は様子見ですので、数年はこの状態かも。 人口が減少するなかでは、民間で賃貸住宅を建設する人はほとんどいないので、中止した方がいいのではないか。 業者まかせではなく、民間人としての補助が必要。 空き家活用をもっと見直す。または、高校生の下宿生の受け入れ。七尾高校などの生徒も行っている。 コロナ禍での資材高騰の影響があり令和2年度3年度と実績値が0なので中止してもいいと思います。 新しい宅地もいいですが、空き地、今ある宅地をより求めてもらえる方が長い目で見ると大切。どんどん空き地、家が広がっていく。 かほく市はサンリーホームが新たに民間賃貸住宅を数多く建築しており、民間企業の協力を得ながら積極的に取り組んでいただきたい。宝の住まいる応援事業の実績から、高い需要を感じる。
		○	8	
		△	3	
		×	3	

令和4年10月6日

令和４年度　意見書

事業	担当課	評価		意見
１１．宝の住まいる応援事業	企画情報課	◎	7	町外からの訪問者が目にする場所に看板設置で周知。 他自治体と比べて、制度的に優れているところをSNSを利用して、発信してほしい。 同上。住宅ローンが不透明なため新築は、しばらく様子見の状態か。家賃補助は続けてほしい。 事業は充実しているので、今後さらに増えるように、補助の内容を深化してもいいのではないか。 町外からの転入者の世帯数が増加している事からこの事業は成功していると思います。 空き家、リフォームなどにもサポートを。 近隣市町も類似の補助金を用意しており、実績から見ても継続の必要があると考える。ただし、あくまでこれがあるから本町を選ぶという方は少数派であり、抜本的な宅地造成が重要だと考える。
		○	11	
		△	1	
		×	0	
１２．宅地造成事業	地域整備課	◎	5	将来の財政運営にもかかわるため、もっとスピード感をもって取り組んでほしい。 高校生へ伝える場があっても良いのではないか。 ５年間で50区画の目標であるが見通しは。 若い住宅取得希望者は、ハザードマップをよく見ています。 今ある住環境で十分対応できているので、宅地造成は必要ないのではないか。 近隣自治体の比べて取り組みが遅い、やる気が感じられない。 宅地も大切ですが、移住者には、まずは働ける場が必要ではないか。 事前にヒアリングがあったことで子育世代のニーズに合った宅地分譲だと思います。 人口減少を食い止める重要な事業だと考える。宅地造成→住まいに関する補助→企業誘致の優先順位で取り組めればプロモーションもしやすいのでは無いでしょうか？
		○	9	
		△	3	
		×	2	

<table>
<tr><th>事業</th><th>担当課</th><th colspan="2">評 価</th><th>意 見</th></tr>
<tr><td rowspan="4">13．空き家バンク事業</td><td rowspan="4">企画情報課</td><td>◎</td><td>8</td><td rowspan="4">バンク登録と買い手の循環が好調です。期待しています。
町内空き家の登録を一段と進めるために空き家の把握、所有者への連絡を行って、地図上で表示し、移住者の希望に沿って提示しやすくしたり、周辺の環境を見せやすくするなどしてみるのはどうか。
空き家バンクを掃除して、改修した家の中をオンライン等でどこにいても。見学できる工夫をして定住促進をしてみては。
移住者が求めるものと現状の違いにギャップがある。(A)現状のまま売る。(B)更地を売る。(C)リフォームの補助金
コロナ禍で住宅建材が高騰して家を建てる事が難しいため安く住める住宅地が必要でこの事業にフォーカスすべきと考えます。移住コーディネーターが空き家の検証を行い実際住める物件をSNSなどでタイムリーに紹介するなどきめ細かい対応が重要。先日NHKの空き家の特集がありましたが山梨でさえ物件が安く、土地の価格を下げたくないというのもありますがHP掲載の物件んお値段設定が高すぎて買うのかなという疑問がありました。宝達志水町の外国人にも安く借りれる住居などのも紹介していただければと思います。
空き家を必要としている人にとっては、大変有効な事業だと思う。新たな物件の掘り起こし及び周知を引き続き積極的に行っていただきたい。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>10</td></tr>
<tr><td>△</td><td>0</td></tr>
<tr><td>×</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="4">14．若者通勤サポート事業</td><td rowspan="4">企画情報課</td><td>◎</td><td>3</td><td rowspan="4">高卒の直前にも伝えるべきである。
申請件数は微増も、転出者も増加している。転出抑制効果は想定できるが周知が図られると本当に転出者が前年対比等で減るか？
他自治体ではあまりない制度ということなので、周知に力を入れてほしい。
年間2万円の補助金が微妙にいいですね。
転出者は、通勤サポート事業とは関係なく、別の理由で町外に出るので、この事業はこのまま続けていけばよい。転出者の理由は、把握すべき。
年間2万円は安すぎではないか。
年間2万円では少ない。
若者への通期サポートよりネット回線の環境を整えることが先。☆かほく市が人気があるのはネット環境がよいから。
令和3年度の転出者が167人と結果が出ているため予算があれば続けるとよいと思いますが、普通に考えるとこの年代は都市での生活をしたい、また仕事が忙しく会社の近くに住みたいう理由で転出すると考えられます。山梨県の調査を見ると40歳までの転出者が多いと調査がでているので、通勤サポート費を助成するなら子育て環境のために金沢などから移住してくる30～45歳ぐらいまでの転入者に通勤サポート予算を使った方が合理的かもしれません。
確かに取り組みとしては、あまりない制度であるが、住民票を置いておけばもらえ、実際町外に住んでいた方もいた。実情把握を行い、今後の取り組みを精査したい。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>11</td></tr>
<tr><td>△</td><td>3</td></tr>
<tr><td>×</td><td>2</td></tr>
</table>

事業	担当課	評価		意見
１５．奨学金返済助成事業	企画情報課	◎	0	国、県で対策している。 方向性が定まっていないため評価できない。 伝える対象者や時期（方法）を再考。（案）高校生が大学進学のために奨励金を申し込むタイミングで知らせる。 回答率の低さが本件ニーズの低さではないか？ 就職先の事業者の情報、住宅の情報など定住を後押しするような情報の提供が必要。 人によっては、奨学金の返済助成を余計なお世話と考えているかもしれません。返済は、自らの努力でするというのが一般的に思えます。 町に定住するには、仕事があるかどうかが重要。仕事がないのに大学での奨励金の返済助成で定住することはないので、中止してもいいのではないか。 PR不足。 わかりずらい。 事業内容が抽象的。 今は、時期ではないと思う。 結果がでていないので中止してもよいのでは思います。Uターン就職は大学卒すぐではなく30代以降、子育て環境を環境のためにライフスタイルを変えて定住し未返済だという方に助成するなど。 取り組みとしてあってもよい。どこまで周知させるか。もっと言うと、大学進学時に周知して活用してもらえるのがよいかも。 この補助があるから、今後の人生の重要な役割を担う「仕事」や、それに伴う「居住地」を本町に選定するとは考えにくい。奨学金返済助成の代わりに魅力ある企業誘致に力を入れるべきでは？
		○	4	
		△	9	
		×	6	
16．子育て世代包括支援センター活用事業	子育て応援室	◎	5	6点以上が本当に満足しているとは思えない。（8 点以上は何％でしょうか？）アプリの必要性を認識されていない方もいて、利用につながる取組が必要。 アプリの活用など積極的な対応を評価します。ただ、アプリの活用普及をめぐっては、ニーズについてヒアリングをさらに進めた方がよいと思います。 アプリを利用しない理由を把握して、アプリを続けるかどうか検討すべきではないか。 複合的な課題を抱えた世帯が多くなってきている中、子育て世代包括は、高齢者包括との連携していくことが求められてくるのではないか。 子育て世代へは厚く手をさしのべていくべきです。 アプリで発信する内容にメリットがあれば利用すると思います。どういった内容が発信されているかわかりませんが役場のHPに載っている内容ではなく、例えば〇〇のお店で今日はグルテンフリーのケーキと売っているとか、〇〇の遊び場が開いてるので来てくださいというようなきめ細かな内容があれば皆さん活用すると思います。 それだけのアプリより、LINEに情報がくる方が見る気がします。 満足度は高いようですが、導入したアプリを使いこなせないのであれば、本末転倒。アプリ導入の際に本当にニーズの高いものなのか考えていただきたい。 宝達志水病院診療料の増設・常設（産科・小児科）見通しは？
		○	11	
		△	3	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
１７．不妊治療費助成事業	子育て応援室	◎	7	保険適用とする。 制度設計で臨機応変な対応を期待しています。 今後、不妊治療の保険適用から、新たな助成事業が必要だが、その深化・発展ができないのなら、続ける必要があるかどうかを検討すべき。 新制度を早急に立ち上げ、手厚い補助を。 里親制度の周知を図ることもおこなってはどうか。 結婚から子育てへの助成は大切。 保険適用後も子育て世代にメリットがあるような助成を考えて頂きたく思います。 素晴らしい取り組みだと思います。 不妊で悩まれている方の支えになる事業であり、積極的にサポートを行っていただきたい。
		○	11	
		△	0	
		×	1	
１８．未就学児の教育保育の質の向上	子育て応援室	◎	4	16と同じ。オンラインを活用した幼児教育のモデルとなることを期待しています。 このままでいい。 ネット利用をUP。 家でもインターネットを使う機会は増えていると思うので、園でも使いすぎると視力の低下やコミュ力の低下がやや心配。 子どもの将来のために投資する。 この事業は保護者のニーズや外部の意見を取り入れながら積極的に進めて頂きたく思います。 専門の方が来られない日も先生方が保育できるように、先生への研修があってもよいのでは（時間的に厳しいかも） KPIの目標値もなく、実施している教室の質の向上や満足度向上に向け、どのような取り組みを行っているのか？改善点も見えにくい。
		○	14	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
１９．児童遊戯施設整備事業	子育て応援室	◎	4	送迎、交通システムの検討。 各地公体で同様の施設があり、利用ニーズはあると想定され、交通手段整備も含めた設置が必要。（必要を問われれば整備は望むと思慮） 今後の取り組みに期待。 どのような施設にあるか期待しています。 遊戯施設にこだわらず、児童が遊べる場、学べる場をい考えてみてはいいのではないか。 大規模の遊び場の検討？ 安全で感染症対策も整った環境に期待。AIの活用で子どもの管理も必要ではないか。 家・学校以外の第三の遊び場は必要。遊具や施設には、安全のために大人と一緒がよい。犬・猫の入らないよう囲いが必要。 早く進めるべき事業だと思います。やはり子育て環境のために近隣の市に転出ということを避けたい。運営開始が令和6年は遅すぎるので開始前までの間に桜ドームの多目的ホールなどを時間や曜日を区切るなどして特に冬季に未就学児が無料で使用できるなどの仕組みが必要だと思います。 新規建設は、予算のムダです。さくらドームなどを活用する。 無理のない運営計画をたて、継続可能か精査していただきたい。運営費を補える工夫も必要なのでは無いでしょうか？
		○	9	
		△	5	
		×	1	
２０．宝たち成長お祝い事業	子育て応援室	◎	4	１７と同じ。問題意識が明確です。施策に反映されることを期待しています。 一時金ではなく、子育て環境の向上に向けて、医療費の補助・無償も検討してみてはいかがか。 第2子、第3子の手厚い補助を。 事業で出生数のい増加が見込めないのなら、子育てに少しでもつながる支給の検討が必要ではないか。例えば、給食費の助成や通学費の助成等。 人口増につながり、子育て世代と魅力ある町と思えるようにする。 この事業は直接的な出生数の増加を図る事ではなく子育て中の移住を考えている家族にとっても魅力ある事業だと思います。移住を考える人たち（30代、40代がターゲット）に。成長祝金に予算を追加投入してもよいかもしれません。 可能な限り続けていただきたい。 子育て支援の一環として行っていただきたい。移住者取得のためのメリットとしてプロモーション効果に期待したい。
		○	14	
		△	1	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
21．宝たち検定チャレンジ事業	学校教育課	◎	3	各種検定を子供たちのチャレンジ精神とリンクさせるアイデアはなるほどと感心します。期待しています。 検定・受検時より、合格したことによるインセンティブをもうけた方がいいのではないか。 PRと家族ぐるみの対応が必要。 塾に通っている小学生は、チャンスがあるが、通っていない子供も町で受検できる機会があったら参加したいと思ったことがあった。 児童・生徒の基礎学力が上がってきているのは実感しますが検定を取ることが目的になり本来の学習の目的が曖昧になるのではとも感じます。検定を推進すると同時に例えば英語はなぜ必要かなど語学をやる価値を伝える働きかけをすることでより生徒の意欲を引き出すことができると思います。 長い目で見て実績が上がり、根づいていけばよいと思います。年１回、保護者も受けれたら、家族で盛り上がり増加するかもしれません。 子供たちの学習意欲向上につながるとは思うが、例えば、中学3年で何級以上というボーダーを設定した方がより、学力の向上につながるのでは無いでしょうか？
		○	12	
		△	4	
		×	0	
22．宝たちビジネスアカデミー事業	生涯学習課	◎	2	小学生を対象にした金融学習に取り組みは時代の先端です。期待しています。 地元業者だけではなく、県の内外のアントレプレナーなどアドバイスをもらう仕組みが必要ではないか。 ※アントレプレナー　・・・　事業家や起業家を意味する言葉 他業種を紹介する。 時代と共に変化する仕事について、学ぶことができたらよい。以前参加した時、親の意見が強いチームは、事業の意図と違っていると感じた。高校生や大学生をフォローにつけてみては。 大変良い事業なので引き続き取り組んでいただきたく思っています。 子供たちに必要なことは、興味関心から、職業観やその意義を見出すことであり、体験内容に薄さを感じる。これだけでは事業内容をカバーできていない。また、ＫＰI設定が、事業を実施しただけで100%となり、事業内容の改善にも全くつながらない。教育側としての「人財を育てる」という意識も低く感じる。
		○	14	
		△	3	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
２３．宝の縁結び事業	子育て応援室	◎	4	登録者が少なく活動に限界を感じる。マッチングアプリなどもあるなかで、本事業の優位性や活動の幅を増加させることが必要。 女性の参加率が上がるように工夫が必要。 「仲人さん」の人材育成は必要です。時代のニーズです。期待しています。 婚活を前面に出して、アドバイスしたり、イベントしたりしても若い人が来ないのではないか。また、対象を町内では婚活が進まないので、町外、県内あるいは県外も対象にしてすべきでは。 町独自の活用を! 事業で結婚に至った人は、どれくらいいるのか。定住してくれているのか。 アドバイザーや結婚相談所より出逢いの場やイベントが大切。石川の縁結び　コロナ禍の影響はありますが結果があまり出ていません。参加者が町内限定だとしたら範囲が狭すぎて登録しないと思います。ニーズがないのでイベントは中止。アドバイザーのみ残すことが現実的です。 最大の目的は、定住してもらうこと。町内同士の方を対象にしたのと町内の方のパートナー募集を対象にした場合では、内容が変わってくる。 民間で行っている婚活イベントへの斡旋で良いのでは無いでしょうか？本町だけの取り組みでは、実施がかなり困難に感じます。
		○	7	
		△	8	
		×	0	
２４．一般介護予防事業	健康福祉課	◎	4	会場を常に変更しながらの送迎付き介護予防教室の開催には担当のみなさんの努力を感じます。 コロナ禍における介護予防事業を一層強化すべき。 きめ細やかな地域サロンが必要。 コロナ禍で外出を控え、心身共に機能低下、介護度の悪化は現実に目のあたりにしている。アフターコロナの対策が必要である。 コロナ禍で活動ができなかったことがありますが、サービズは全般的に充実していると思います。 交流の場、創出が必須。見守り隊サポーターのように地域活動に参加している方は、おのずとして元気です。交流の場に出てきた方の得意分野で地域貢献できる役割をコーディネートしていく。 高齢者及び親族が安心して暮らせる事業の一つだと思う。今後も需要は高くなると思われ、柔軟に対応していっていただきたい。
		○	12	
		△	3	
		×	0	

事業	担当課	評価		意見
２５．認知症総合支援事業	健康福祉課	◎	4	高校生が知ることも重要ではないか。（必要に応じて、探究活動のテーマにもなりうる） 「現状」と「課題」は深刻なことがわかりました。認知症サポーター養成講座の広がりを期待しています。 このままでいいが、支援体制とは別に、認知症予防対策を検討してみてはいかがか。 支援者の情報は、充実できているようだが、認知症本人の声をもっと大切にすべきではないか。本人支援に力をいれている自治体が多いと聞く。 認知症サポーターの養成講座で多くの方が受講してもその受講者の方が地域に関わるアクションまで運用できていない。どこを手伝ってもらえるかの人材の運用ができるように具体的な仕組みを考え運用することに尽きると思います。もしある地域でサポーターの方がゴミ出しなどを手伝うなど具体例があれば事例を広報誌で掲載するなどで読み手は講座に参加する意義を理解するし地域にとって必要なことも理解できます。 今後も支援体制強化を行っていただきたい。
		○	13	
		△	2	
		×	0	
２６．在宅医療・介護連携推進事業	健康福祉課	◎	5	高校生が知ることも重要ではないか。（必要に応じて、探究活動のテーマにもなりうる） エンディングノートについて、社会教育の一環として、６５歳以降で記述する機会を設けてはいかがでしょうか。提案です。 在宅に向けての円滑な入退院支援はまだ十分ではなく、より深化させて、タイムリーに素早くできるように体制を整えるべきではないか。 緊急医療情報キットの活用によって、実際情報をスムーズに伝えることができているのか。在宅の看護が安心してできる町づくりに期待したい。 突然の退院で在宅支援に不安ありということは地域連携室が機能していないと考えられます。コロナ禍で家族の直接面会ができないため今までの家族と医師を含む現場スタッフとのコミュニケーションができず地域連携室に家族の意図が伝わらない、また家族自身も現状が把握できなかった事も大きいと思います。コロナ禍で地域連携室の負担が増加しています。患者の病状は変化するので在宅と施設のコーディネーターは分けずに数人で仕事を担当するなどした方がいいように思えます。一人のコーディネーターで在宅の問い合わせ281件こなすのはマンパワー不足で物理的に連携室が回っていないことがわかります。連携室は病院の要なので優秀な人材を増やさなければならないと考えます。 3か所の特養やグループホームなどを持つ宝達志水町は高齢者介護に大変恵まれています。その反面、居宅介護支援サービス事業が少なく訪問看護ステーションが羽咋市も含めて少ないため在宅介護と看護の受け皿が足りません。マンパワー不足の現状で在宅介護と医療を推進していくのは家族や事業所にかなりの負担をかけます。訪問看護が必要になる在宅の看取りなどは施設利用も含めての支援が現実的だと思います。 今後も支援体制強化を行っていただきたい。
		○	13	
		△	1	
		×	0	

令和４年度　意見書

令和4年10月6日

<table>
<tr><th>事業</th><th>担当課</th><th colspan="2">評 価</th><th>意 見</th></tr>
<tr><td rowspan="4">２７．地域包括支援体制の整備</td><td rowspan="4">健康福祉課</td><td>◎</td><td>6</td><td rowspan="4">ボランティア↔行政対応も必要。支援の項目による。
高校生が知ることも重要ではないか。（必要に応じて、探究活動のテーマにもなりうる）
生活支援ボランティアの養成は急務ですね。スタッフのみなさんに期待しています。
このままでいいが、もう少し見守りネットワークを早急に構築して、支援を図っていくのがいいのではないか。
一人暮らしを支援できる体制を。
インフォーマルサービス、資源開発にもう少し力を入れて住民と検討していければ課題解決への一歩になるのでは。
※インフォーマルサービス・・・家族をはじめ近隣や地域社会、NPOやボランティアなどが行う援助活動で、公的なサービス以外のものを指します。
宝達志水町にとって大切な事業であり、今までの取り組みは大変評価できると感じています。また今後の取り組みについても実現可能だと思います。認知症サポーターの受講者の中から買い物移動支援（ガソリン代などがかかるため一回手伝うとポイントカード特典がつく）などのインセンティブを出す）また地域内のサポーターでゴミ出しなどを手伝ってもらうなど具体的な仕組みを他事業と考えていくことが必要だと思います。
今後も支援体制強化を行っていただきたい。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>11</td></tr>
<tr><td>△</td><td>2</td></tr>
<tr><td>×</td><td>0</td></tr>
<tr><td rowspan="4">２８．健康増進事業（がん検診）</td><td rowspan="4">健康づくり推進室</td><td>◎</td><td>5</td><td rowspan="4">高校生が知ることも重要ではないか。（必要に応じて、探究活動のテーマにもなりうる）
持病などある人は、それぞれの病院でついでに検診を受ける人が多いと聞いています。個人宛でハガキ（往復）にその記載欄を設けて、町全体の検診数と率を把握してはいかがでしょうか。
がんの危険性を言って、こうゆう状況が見られたりすると大変と伝えて、がん検診を勧奨してみてはいいのではないか。
もっとPRを。
土日の検診日が少ないので、40代、50代が少ないのは当然。
PTAなど様々な機会に普及啓発することは良いと思います。検診は危機感がないと受診しないため何人ぐらいが検診でがんを見つけたかなどのデータがあれば伝えることで危機感を持ち受診率が上がるかもしれません。
今後も支援体制強化を行っていただきたい。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>10</td></tr>
<tr><td>△</td><td>4</td></tr>
<tr><td>×</td><td>0</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業</th><th>担当課</th><th colspan="2">評　価</th><th>意　見</th></tr>
<tr><td rowspan="4">２９．健康増進事業（特定健診・保健指導）</td><td rowspan="4">健康づくり推進室</td><td>◎</td><td>2</td><td rowspan="4">腹囲測定に疑問、体重の変化をそのまま前年の数値に加減している。実測した数値になっていない。MBI異常者が増える。
特定保健指導の必要性を感じていない可能性もあり、重要性を周知する取組も必要。
個人宛でハガキ（往復）にその記載欄を設けて、町全体の検診数と率を把握してはいかがでしょうか。勤務先の検診でダブっている可能性あり。
目標達成には、定期的に連絡する一方、訪問などで勧奨することも時には行くことを検討してみてはいかがか。
土日の検診日が少ないので、40代、50代が少ないのは当然。
40代から50代は企業で受けていることが多いのでは。
40代50代は職場での健診を受けるため受診率が少ないと思います。集団健診では日程の中で40代50代の健診日を特定することで受診しやすいかもしれません。高齢者と一緒というのに抵抗がある方もおられると思います。
今後も支援体制強化を行っていただきたい。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>14</td></tr>
<tr><td>△</td><td>3</td></tr>
<tr><td>×</td><td>0</td></tr>
<tr><td rowspan="4">３０．地域組織育成事業</td><td rowspan="4">健康づくり推進室</td><td>◎</td><td>1</td><td rowspan="4">ターゲット層、あるいは地域をしぼってもっと活動をアピールした方がよいのではないでしょうか。
このままでいい。新規の担い手を増やすには、何かしらのインセンティブを必要かもしれない。
良い活動をされている。活動内容をアピールして後継者を求めてはどうか。
健康づくりは、中年の人々が高齢者まで長きにわたり、検討する課題となるはず。地域のスポーツ体力づくり。
新規の担い手がいないのが一番難しいと感じます。食育は大切で小中学生にも大事です。健康推進と食生活改善はリンクしているのでこの二つの委員会を効率よくまとめて、例えば高齢者には健康づくり推進委員に減塩普及の説明をしてもらうとか二つの推進委員が協力または統合しカバーすることで人的負担を軽減することはできないでしょうか？
ボランティアによる新規担い手確保は、昨今かなり難しいと思う。ＤＭＯとの協力体制を築きながら収益性も兼ね備えた支援ができると尚良い。</td></tr>
<tr><td>○</td><td>14</td></tr>
<tr><td>△</td><td>4</td></tr>
<tr><td>×</td><td>0</td></tr>
</table>

事業	担当課	評価		意見
３１．地域交通政策推進事業	企画情報課	◎	6	利用者が他地公体に訪問していることもあり、近隣地公体との広域での運用は検討出来るか？ 免許の返納と町有バスは表裏一体の仕組みであり、列車の活用も含めて期待したい。 コミュニティバスの利便性向上のため、本数を増やしたり、行きたい場所（停車地）の見直しなどした方がいいのではないか。デマンドタクシーの利用の仕方（予約など）をもう少し検討した方がいいのではないか。 デマンドタクシーの接遇の改善を求める声が何件か聞くことがあった。減少している原因ではないか。 住民の足については、今後とても大きな課題となる。 新しい公共交通の時刻表でデマンドも使いやすくなり改善されており評価できると思います。ただデマンドは民間なので理解できますがシャトル便は宝達志水病院以降のバス停から羽咋病院に行くのに500円払わなければいけないためこの区間を利用する子浦地域の方には300円で済むようにしてあげないと利用しないと思います。住民の転出を食い止めるためにもこの事業に長期的に投資しないといけないと思います。また外国人の人口が増えており車を持っていない方も多いので英語での説明を入れたりと告知方法も工夫が必要かもしれません。高校生の通学時に自転車で通えない地域へ夕方1本でもダイヤが増えると保護者は助かると思います。 ニーズに合わせて、都度、バージョンアップ改正していけばよい。デマンドタクシーは、ドライバーのサービス精神や対応が必須。評価の高い方を選任してはどうか。 利便性の高いサービスの提供がかなり難しいサービスであるが、利用者の声を極力取り入れていってほしい。
		○	9	
		△	4	
		×	0	
３２．地域行事サポート事業	総務課	◎	1	除雪機は、集落間の協働作業のツールとなり、とてもよいアイデアと感心しました。 除雪以外にも、集落間連携の取り組みを図るのがいいのではないか。取り組み内容の幅を広げ、充実強化すべきではないか。 集落間の意見や行事等の共有。区長会の活用。 地区で共有することで地区を守ることはよい。 引き続き長期的に続けることで町が高齢者の生活を守る姿勢をPRできると思います。 将来的にコンパクトな町にしていく構想が必要。新築物件、空き家など建物を含め、計画的に集約していかなければ。 現在取り組みは限定的であり、現在の取り組みと並行して、今後新たな地区及び支援内容を精査していく必要があると考える。
		○	16	
		△	2	
		×	0	

令和4年10月6日

事業	担当課	評　価	意　見
その他			各年度毎の指標目標があると思うが、町として、事業の優先順位を定め取り組めばどうか。 多方面において、積極的に取り組んでおられることがよくわかります。 要保護児童対策地域協議会に高校も参加希望します。高校生が知るチャンスを増えるように工夫していくことも重要である。 地域特有の課題やいまの日本の課題などがこの評価シートに凝縮されていて興味深く読ませていただきました。「事業1宝の土地活用推進」にもあるように補助金があるだけでは、他の自治体との差別化は難しいと思います。宝達志水町で人生のストーリーは描けるようなオリジナルなコンセプトが必要なのだと感じます。職員、そして町民のみなさんのアイデアや提言こど「宝の山」かもしれません。 全体的な会議は、年2回（実質1年1回くらい）この会議とは別に2～3か月に1回くらい6人程度の委員と気軽な内容で会合を開催した方がもっと多くの話し合えるのではと思います。 素人の勝手な意見を述べる場を提供していただき、ありがとうございます。少しでも参考にしていただけると幸いです。また、今回たくさんの取り組みを行っていることを初めて知りました。頭が下がります。本当にありがとうございました。 全体的に優先順位が見えにくく、それぞれ単独で動いているように見える。メリハリをつけた事業への取り組みが必要なのでは無いかと感じた。また、PDCAサイクルによる事業内容の磨き上げに関して、そもそものＫＰＩ設定が甘すぎるものがある。例年こなすことが目的となっており、改善が見込めない。事業実施主体がどれほど必要性を感じて取り組んでいるのかも疑問がある。 正直、32もの項目を書面（のみ）で評価するのは気が引けます。各々の担当課・人にも失礼では、、、。また、課題・今後の取り組みを拝見するにどれも中止・終了できません。コロナ禍中は百も承知ですが、やはり担当部局の人と対面での質疑応答が不可欠。短期間でも回数を重ねることを検討してください。感染予防徹底の上での「Withコロナ」 経済人、経営者として、主に雇用の創出および新しい人の流入促進といった経営対策に力を入れるべき。福祉、健康づくり推進室に関しては、専門外のため関係者の意見を聞き、慣習にとらわれず、事業を再生していく。

事業	担当課	評　価	意　見
その他			総合戦略の評価の中で感じたこと。 基本目標をもとに各事業の内容が作られていますが大きな目標は人口を増やし人の流れを作る事なので、大きな目標を常に考えながら基本目標をを見ないと、発想が限定されてしまいます。 行政内では組織全体でゴールに取り組むという意識を作り他部門との連携で効率的に業務を遂行する。また一番大切なことは何がなんでも宝達志水町民のためにというリーダーシップが大切だと思います。 総合戦略内で取り上げるべき事業 多文化共生事業。宝達志水在住の外国人は184人。内、技能実習生が102人と永住者は30人います。羽咋郡市では大学出の外国人の正規雇用が増えており、外国人＝技能実習生ではなくなっています。国際交流課を作り外国人サポートをする仕組みを早急に作り町民が日本人だけという概念を変えていかないと生き残れないと思います。 IT推進。効率よく紙での作業を役場全体で少なくする。推進会議もあできる方がオンライン参加でミーティングするなどしてほしいです。 その他 宝達志水は特養やグループホームが充実していますが働き手がいません。移住者が町内の介護施設で仕事に就く際は支援金などを出してあげると人材確保につながると思います。 ＊宝達志水のツーリズム 観光客の多くは千里浜なぎさドライブウェイに行くとそのまま羽咋に行く流れになっているので町内の観光地をスルーしてしまいます。千里浜なぎさの通行止めが頻繁な時こそ他の観光資源をアピールする時期だと思います。現在は里山海道を降りた特に他の観光地のへの案内板さえありません。案内板は即進める！ サテライトオフィス推進事業で書きましたがアステラス跡地をDMOの活動拠点にし観光案内所を作り起業家やシェアオフィス、サテライトオフィスや町の資源や宝達山スポーツツーリズムを紹介する場なども併設してコミュニティ広場を作り、そこではキッチンカーなども出し町民及び観光客の交流の場を作り活用できればと提案します。場所に余裕があれば大型犬用の大きな無料ドッグランを作れれば町おこしになります。観光案内所がすぐに作れないなら宿のコンビニに町のパンフレットを置いてもらうだけでもPRになると思います。 旧志雄地区には目玉となる観光資源が少ないため志雄中学跡地を大型犬も走れるフリードッグランにしてドッグアジリティ（犬の障害物競技）が練習できる場にすると人の賑わいを作れると思います。（県内に施設があまりない）犬を飼いたい移住者を吉野家や子浦地区に増やし賑わいを作ります。旧志雄地区には吉野屋運動公園や白虎山公園があり犬の散歩に最適で犬にやさしい地域としてPRできます。もう少し大きな土地が必要かもしれませんがスポーツ振興の中にドッグアジリティ部門も作る事ができたらいいと思います。ドッグランについては建物ではないので仮に芝を植えれなくても柵と定期的な草刈りができれば低予算ですぐ作れます。また他に用途あれば撤去や移転もできます。